

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●菊花賞は重賞初挑戦のドゥレツァが優勝

10月22日(日)に行われた菊花賞(G I)では、ここが重賞初挑戦となったドゥレツァ(牡3歳/美浦・尾関知人厩舎)が優勝、3歳クラシック最後の一冠を手に入れました。1984年のグレード制導入以降、重賞初挑戦での菊花賞制覇は、1986年メジロデュレン、1990年メジロマックイーンに次いで33年ぶり・史上3頭目のこととなります。また2着には日本ダービー1着のタスティエーラ(美浦・堀宣行厩舎)、3着には皐月賞1着のソールオリエンズ(美浦・手塚貴久厩舎)が入り、関東馬による三冠独占は1987年以来36年ぶり4回目(グレード制導入以降)、関東馬による菊花賞1・2・3着独占は1985年以来38年ぶり9回目(通算)のこととなりました。

●田辺裕信騎手がJRA通算1万3000回騎乗を達成

10月21日(土)の4回東京6日・第5レースでホウオウパローロに騎乗した田辺裕信騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上25人目・現役17人目となるJRA通算1万3000回騎乗を達成しました。

●岩田望来騎手がJRA通算400勝を達成

10月22日(日)の2回京都7日・第8レースではナスティウエザーが1着となり、同馬に騎乗した岩田望来騎手(栗東・フリー)は、現役47人目となるJRA通算400勝(3723戦目)を達成しました。23歳4か月22日での400勝達成で、これは武豊騎手の21歳4か月22日に次ぐ、中央競馬史上2番目の若さでの達成となります。

●レッドジェニアル、ライオンボスの競走馬登録抹消

2019年京都新聞杯(G II)の勝ち馬レッドジェニアル(騾7歳/栗東・高橋義忠厩舎/JRA通算23戦2勝)、2019年アイビスサマーダッシュ(G III)の勝ち馬ライオンボス(牡8歳/美浦・和田正一郎厩舎/JRA通算29戦6勝)は、9月8日(金)までに競走馬登録を抹消されました。レッドジェニアルは乗馬となる予定です。ライオンボスは地方・川崎競馬に移籍しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●大井のJBCにメイショウハリオ、テーオーケインズらが参戦

JBCクラシック(Jpn I、11月3日、大井、2000m)は、Jpn I 3勝のメイショウハリオが中心、次いで連覇を狙うテーオーケインズ、ウィルソンテソーロ、キングズソード、ノットウルノ、ケイアイパープル、クリノドラゴンの順に有力視されます。

JBCスプリント(Jpn I、11月3日、大井、1200m)は、好調なリメイク、昨年の覇者ダンシングプリンス、リュウノユキナが首位を争う混戦模様で、ケイアイドリー、バスマットレオン、ラプタスが続き、モズメイメイは初のダートが課題です。

JBCレディスクラシック(Jpn I、11月3日、大井、1800m)は、ダート転向以来好調なアイコンテラーが筆頭格、以下アテルアストレア、グランブリッジ、ライオットガール、テリオスベル、レディバグ、ヴァレーデラルナまでが争覇圏内と考えられます。

JBC 2歳優駿(Jpn III、11月3日、門別、1800m)は、JRA所属馬ではエストレヤデベレン、サンライズジバング、フォーエバーヤング、フォーディアライフ、モアリジットという序列になると思われますが、いずれも1勝馬とあって、地元北海道のパッションクライ、ブラックバトラーが強敵です。

●スカイキャンパスらが出走、11月1日のエーデルワイス賞(門別)

エーデルワイス賞(Jpn III、11月1日、門別、1200m)は、函館2歳S 3着馬スカイキャンパスは初のダートが鍵となり、ホーリーブライト、ワイノナオミ、ムームも出走しますが、モノノフブラック、スティールマジックら北海道勢が立ちほだかります。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1 コーフィールドC～ブレイクアップは8着

現地10月21日にオーストラリア・ヴィクトリア州のコーフィールド競馬場で行われたG1 コーフィールドC(3歳上、芝2400m)に、日本からD. レーン騎手を背に参戦したブレイクアップ(牡5歳、父ノヴェリスト、栗東・吉岡辰弥厩舎)は8着でした。勝ったのは元イギリス調教馬で、現在はオーストラリアのA&S. フリードマン厩舎に所属するウイズアウトアファイト(騾6歳、父テオフィロ)。M. ザーラ騎手とのコンビで中団追走から直線で外から伸びて優勝し、G1初制覇を果たしました。

●G1 英チャンピオンS～キングオブスティールがG1初制覇

4つのG1を含む5つの重賞を1日で行う英チャンピオンズデーが10月21日にイギリスのアスコット競馬場で行われました。そのメインレースにあたるG1 英チャンピオンS(3歳上、芝1990m)を制したのはキングオブスティール(牡3歳、父ウートンパセット、英R. ヴェリアン厩舎)。L. デットーリ騎手とのコンビで後方からの追い込みを決めました。キングオブスティールは今年のG1 英ダービーでオーギュストロダンの2着の後、G2 キングエドワードVII世S(芝2390m)でのG1 英セントレジャー勝ち馬コンティニューアスを下して重賞初制覇。その後はG1 キングジョージVI世&クイーンエリザベスSが3着、G1 愛チャンピオンSも4着でしたが、シーズン末の一番でG1 タイトルを手に入れました。